PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 10016356

(43)Date of publication of application: 20.01.1998

(51)Int.CI.

B41J 29/38 G06F 17/21

(21)Application number: 08195752

(71)Applicant:

RICOH CO LTD

(22) Date of filing: 06.07.1996

(72)Inventor:

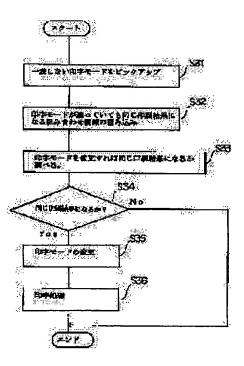
NAGANO MASAAKI

(54) PRINTER

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve operating properties by eliminating resetting done at the site by a method wherein when a printing mode registered by making it relate to an identification data does not conform to a present printing mode, printing is executed by changing the present printing mode.

SOLUTION: At first, non-conformed printing mode is picked up (S31). When printing information is different, by changing a printing mode to another printing mode, or changing a content of the printing mode, an information data of a combination becoming the same printed result is read (S32). Then, whether or not the same printed result as printing in a printing mode registered in an identification data is obtained is examined by changing a present printing mode so that a difference of the picked up printing mode brings about the same printed result (S33). Then, whether or not the same printed result is obtained, is judged (S34). When the same printed result is obtained herein, printing process is carried out by changing the printing mode (S35-36). Resetting at an operation panel at the site becomes unnecessary when the printing modes do not conform to each other.



Copyright (C); 1998 Japanese Patent Office

(19) 日本国称群庁 (JP)

(12)公開特許公報(A) (11)特許出國公開番号

梅開平10-16356

平成10年(1998)1月20日
(43)公開日

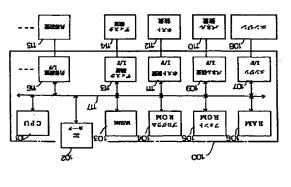
技術表示箇所		株 代 44	
и н	(全7頁)	(株式会社リコー 株式会社リコー 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 永野 雅昭 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 社リコー内	
5 6 6		000006747 株式会社リコー 東京都大田区中 永野 雅昭 東京都大田区中 社リコー内	
29/38		000000 株状3 海水等 學 大田	
F I B 4 1 J G 0 6 F	FD	(71) 出題人 000006747 株式会社 1 東京都大日 (72) 発明者 永野 雅昭 東京都大日 社リコー广	
广内整理番号	請水項の数2	Щ.	
数別記号	審査請求 未請求	特 顯平8-195752 平 <i>成</i> 8年(1996)7月6日	
	· 查腊·	特	
29/38	#		
(51) Int. C1. ⁸ B 4 1 J G 0 8 F		(22) 出願 8	

(54) 【発明の名称】プリンタ装置

(57) [要約]

【戦題】 印年キードの不一致時にプリングの設置場所に出向いて行う機体パネルでの設定し直しを不要にし、かつ、印字動作禁止時における次の使用既結を容易から協実にして、その機作性の向上を図る。

【解決手段】 CPU101からディスク報復114までの毎点を有し、入力に応じて印字モードを設定し、かつ、外部接置からの総別データに対応した印字モードを登定し、かつ、外部接置からの総別データに対応した印字モードを投戻するとともに、総別データに対応づけて登録とている印字モードを設定するとともに、総別データに対応づけて登録している印字モードと現在の印字モードとが一致するかを判断して、外部装置から送信されてきたデータの印字配件を実行する。この際、総別データに対応づけて登録した日字モードと現在の印字モードとが一致しなかった際に現在の印字モードとが一致しなかった際に現在の印字モードとが一致しなかった際に現在の印字モードとの変更を追択する。この議状した印字を下に設定し直して印字動作を実行する。



【特許請求の範囲】

「翻求項」】 入力指示に応じた印字モードを設定するともに、外部装置からの職別データに対応する印字モードを登録し、かつ、外部装置からの職別データに対応づけて登録した印字モードを設定するともに、職別データに対応づけて登録している印字モードと現在の印字モードとの一致を判断して、外部装置からのデータの印

字を実行するブリンタ装置において、 駿別データに対応づけて登録した印字キードと現在の印字キードとが在の印字キードとが一致しない際に現在の印字キードを変更する変更手段と、

前記変更手段で変更した印字モードによる印字を実行す る印字英行手段とを備えることを特徴とするブリンク装 【請求項2】 前記請求項1記載のプリンタ装置に、 別の識別データが外部装置から送信されてくるまで、外 部装置からのデータを、対応する職別データと結び付け て記憶する記憶手殺と、

前記記憶手段に記憶しているデータを印字モードの再散 定後に印字する制御を印字実行手段に対して行う印字制 御手段とを傭えることを特徴とするプリンタ装置。

[発明の詳細な説明]

[0000]

「発明の属する技術分野」本発明は、外部装置が接続されるレーザブリンタなどにあって、現在の日年モードと観別データに対応して登録されている日年モードとが不一致の際の殿田字を防止するブリンタ装置に関する。

[0002]

【従来の技術】従来、日字データを送出する外部装置が 接続されるレーボブリンタなどでは、現在の印字モード と職別データに対応して登録されている印字モードとが 一致しなかった場合の関印字を防止するようにしてい る。この印字モードが一致しない場合、印字動作を禁止 し、その目の警告を、例えば、画面表示や音声で出力し [0003] [発明が解決しようとする韓國]しかし、上記従来例の グリング装置では、印字モードが一致しない場合、この 一致しないデータを送出操作した使用者が、プリングの 段電場所に出向いて、その操作パネルの設定をし直した 後に、再度デークを送出している。また、印字モードが 一致しない場合、印字動作が禁止される。この際、操作 パネルでの再覧定操作を行わなければ、次の印字動作が 介はかまない。すなわち、従来のプリング装置では 解結が出来ない。すなわち、従来のプリング装置では 解析が思いというな点がある。 [0004]本発明は、このような従来の技術における 課題を解決するものであり、印字モードの不一契時にブリンクの散置場所に出向いて行う操作パネルでの設定し 国しが不要になり、かつ、印字動作禁止時に次の使用閉絡が容易かの迅速に行われ、その操作性が向上するブリ

特開平10-18858

ව

ンタ装置の提供を目的とする。

[0000]

【環盟を解決するための年段】上記目的を違成するため に、請求項1把数の発明は、入力操作に広じた印字モードを散定するとともに、外部装置からの譲到データに対 応する印字モードを登録し、かつ、外部装置からの認到 データに対応づけて登録した印字モードを散定すると もに、駿到データに対応づけて登録した印字モードを散度すると もに、駿到データに対応づけて登録した印字モードを敬度すると と現在の印字モードとの一致を判断して、外部装置から フータに対応づけて登録した印字モードと現在の印字モードとが一致しない額に現在の印字モードとの日字を実行するプリンタ装置において、競別 データに対応づけて登録した印字モードと現在の印字モードとが一致しない数に現在の印字モードとが一致しない数に現在の印字モードとが一致しない数に現在の印字モードとが一致しない数とを億えるものである。 [0006] 酷状境2記載のブリンタ装置は、即記群状度1記載の装置に到の数別データが外部装置に引が指されてくるずで、外部装置から送信されてくるデータを、対応する観別データと描び付けて記憶する記憶手段と、記憶手段に記憶しているデータを印字キードの再段定线に印字する制御を印字実行手段に対して行う印字制御事

段とを個えるものである。
[0007]にのような構成の請求項1記載の発明のプリンク装置は、識別データに対応して登録されている印字モードと現在の印字モードとが異てる場合は、印字モードを変更して、使用者が望む印字結果が得られるか否かを判断している。この判断で同一の印字結果となる語に、印字モードを変更して、その印字を行っている。

[0008]したがって、不要な印字が防止され、従来のように使用者が印字モードの再設定操作を行って、外のお装置から再度のデータ送出を行わないですむようになる。すなわち、印字モードの不一致時に設置場所に出向いて行う操作パネルでの設定し直しが不要になって、その操作性が向上する。

[0009] 請求項2記載のプリンタ装置は、職別データに対応して登録されている印字モードと現在の印字モードと現在る指令に対しているの字を記憶手にとが異なる場合に外部装置からのデータを記憶手段、例えば、受信パッファにおける通常時とは異なる領域に記憶して、異なる印字モードでの印字を訪止してい

40 [0010]したがって、他の外部装置からのデータに対する日字の開始を特たせることがなくなる。また、日字モードが不一致となったデータに対しても、そのパネル操作によって、先に送出したデータの臼字が可能になり、再び外部装置からデータ送信を行う必要がなくなる。すなわち、臼字動作の禁止時に次の使用開始が容易る。すなわち、臼字動作の禁止時に次の使用開始が容易

かつ迅速に行われて、操作性が向上する。 [0011] **【発明の実施の形態】次に、本発明のブリンタ接置の実施形態を図面を参照して詳細に説明する。図 1 は本発明のブリンタ装置の実施形態の構成を示すブロック図であ**

ß

ව

€

る。図1において、このプリンタ装置100は、プログ ラム、パネル装置からのモード指示、ホスト装置からの コマンドによって、この装置全体を制御するCPU10 1と、フォントデータ、プログラム等を外部から供給す るための1 Cカード102とを有している。

と、ワーキング、入力データのインプットパッファ、印 [0012] さらに、モード指示の内容などを記憶する 不揮発性メモリを用いたNVRAM103と、制御プロ グラムを格納するプログラムROM104と、フォント のパターンデータなどを記憶するフォントROM105 年ゲータのページバッファ、ダウンロードフォント等を 処理するRAM106を有している。

閏インタフェース(1/F)116と、各部を接続する 【0013】また、コマンド及びステータスや印字デー **夕の通信を行うエンジンインタフェース(I/F)10** 7 と、実際に印字を行なうレーザブリンタなどのエンジ ン108と、パネル装置とコマンド及びステータスの通 と、使用者に現在の動作状態を表示したり、モード指示 (1/F) 111と、各種のネットワーク制御などを行 【0014】さらに、ディスク装置と通信を行なうため し、フロッピディスクドライブやハードディスクドライ **ブなどのディスク装置114とを有している。また、印** 字するデータを送出する複数の外部装置115と、この 複数の外部装置115との間で通信を行う複数の外部装 信を行なうパネルインターフェース(I/F)109 を行うパネル装置110と、ホスト装置と通信を行い、 のディスク装置インターフェース(1/F) 113と、 セントロやKS232Cのパネノ被倒インタフォース フォントデータ、プログラム及び印字データ等を記憶 う上位装置であるホスト装置112とを有している。 パスライン117を有している。

及びパスライン117を通じて取り込んで、この装置全 【0015】女に、この実施形態の魁作について説明す る。図1において、CPU101が1Cカード102か 5のフォントデータ、プログラム箏をパスライン117 を通じて散り込み、さらに、CPU101が制御プログ ラムをプログラムROM104からパスライン117を 通じて取り込む。さらに、CPU101がパネル装置1 10からのモード指示、ホスト装置112からのコマン ドをパネル装置1/F109、ホスト装置1/F111

【0016】また、CPU101がモード指示の内容な どをNVRAM103で記憶し、また、ワーキング、入 カゲータのインブットベッファ、四中ゲータのページベ

者に現在の動作状態をパネル装置110で表示する。さ ッファ、ダウンロードフォント等の処理をRAM106 【0011】コマンド及びステータスや印字データをエ ジン108に送出して、その印字を行う。さらに、使用 ンジン1/F101及びパスライン111を通じたエン

5に、処理データをディスク装置114ヘディスク装置 1 /F113及びパスライン117を通じて送出して記 からのデータを外部装置1/F116及びパスライン1 **歯する。 また、CPU101が複数の外部接置115** 17を通じて取り込んで以下に説明する制御を行う。

[0018]以下、印字モードの不一致時に印字結果が ついて説明する。図2は印字モードが異なる際の同一の 同一となり、不必要な印字を防止するために、設置場所 に出向いて行う操作パネルの再散定を不要にする動作に 印字結果を避ける動作を説明するための図である。

【0019】図2 (a) において、印字モードの用紙サ イズがA4縦で、臼字モードの座標軸回転が0度であ

る。図2(a)に示す印字モードが徴別データとして登 録されており、この印字モードの観別データが送信され てきた際に、エンジン108 (プリンタ) にセットされ 合、図2 (b) のように印字モードの座標軸回転を90 **たころ用指サイズがA4様ではなく、A4板でをした礎** 度、すなわち、用紙サイズをA4横に変更すれば、図2 (8) の印字モードで印字したときと同一の印字結果が 得られる。この場合の座標の回転による文字やグラフィ ックゲータやイメージの回転はCPU101がプログラ AROM104及びRAM106等を通じて行う描画処 理で実行する。

[0020] 図3は、操作パネルの設定のし直しを不要 **ブS32において、印字情報が異なる際に、その他の印** 同一の印字結果になる組み合わせの情報データを読み出 にする動作の処理手順を示すフローチャートである。図 3 において、この処理手順ではステップS 3 1 によって 一致しない印字モードをピックアップする。次のステッ キモードに変更したり、印字モードの内容を変更して、

同一の印字結果になるように、その現在の印字モードを ステップS31 でピックアップした印字モードの強いが ドでの印字と同一の印字結果になるか否かを鬩べる。す なわち、いずれの印字モードをどのように変更すれば良 **こややメアップS32で読み出した情報に絡んごく聞く** [0021] 次の、ステップS33ステップによって、 変更することによって駿別データに登録された印字モー

【0022】ステップS34で同一の印字結果になるか 否かを判断する。ここで同一の印字結果になる場合(Y 【0023】なお、ステップS34で印字モードを変更 e s)、次のステップS36で印字モードを変更して、 さらにステップS36によって印字処理を行なう。

)、この処理手頂では、処理を終了しているが、次に **说明する図4のステップS41に処理を進めるようにし** しても同一の印字結果にならないと判断した場合(N ても良い。

【0024】次に、印字動作禁止時に次の使用開始を容 易かし迅速に行う動作について説明する。 図4は印字動 ය

在の職別データ、印字モード及び配憶したデータを結び 示すフローチャートである。図4において、この処理手 を、以降で印字するために、外部装置115から送信し 要情報として、使用者が後で印字するデータを選択する 際に参照できるようにゲータが送られた日付、時刻等を 作禁止時に次の使用開始を容易にする動作の処理手順を 頂では、ステップS41において、記憶しているデータ たデータを選択できるように必要な情報、すなわち、現 つけて管理するための情報を作成する。例えば、この必

理を行わないようにする。すなわち、RAM106にお データ記憶のために割り当てる。ステップS43で外部 時の受信領域と別の領域に記憶することにより、印字処 ける通常時の受信領域とは別にデータを配憶する領域を 装置115からのデータを受信し、次のステップS44 【0025】 ステップ S 4 2において、外部装置 1 1 6 から送信されてくるデータをRAM106における通常 において、データが解析される。

ゲータが送信されてきたと判断した場合 (Yes)、そ RAM106における通常時の受信領域とは別の領域に 記憶する処理を停止して、通常のデータ受信処理、すな 【0026】そして、ステップS46において他の駿別 の時点で、外部装置115から送信されてくるデータを わち、RAM106における通常時の受信領域に外部装 置115からのデータを取り込む。

お、ここで印字モードが一致しなかった場合、図3に示 は、図4中のステップS41に戻って再度、印字モード S47で観別データと印字モードとを概べる。この概べ で印字モードが一致した場合に印字処理を実行する。な 【0021】 ステップ S46によって、外部装置116 からデータが送信されてきた場合 (X o s) 、 ステップ の違いによる印字動作の停止を防止する処理手順を実行 す処理手順をサブルーチンとして実行しても良い。又 するようにしても良い。

操作状態を旣み込み、この操作に対応した処理、すなわ 9によって、印字モードの散定が処理され、さらに、ス テップS 50によって、一時的にRAM106における 【0028】ステップS46でデータが送信されてこな い場合 (No)、ステップS48でパネル装置110の 通常時の受信領域とは別の領域に記憶されているデータ (ステップS53で記憶したデータ)を印字するための ち、印字モードの変更などを行なう。次のステップS4 操作が行われたか否かが判断される。

(Yes)、ステップS51で印字処理を実行する。次 [0029]この判断で、印字する操作が行われた場合 **と領域を解放して、他のワーキング処理を実行できるよ** に、ステップS62においてステップS42で割り当て

8 [0030]また、ステップS45で他の識別データが 外部装置 1 1 6 から送信されてこないと判断した場合

(No) 、ステップS58でデータをステップS42で 割り当てた領域に記憶し、次のステップS 6 4によって ステップS42で割り当てた領域での記憶が最大か否か を判断している。ここで領域の記憶が最大の場合(Xe 8)、ステップS42に戻って、データを記憶する領域 の割り当てから再度、処理手順を実行する。 【0031】また、ステップS64で、飼枝の記憶が最 度、外部装置115からのデータ受信の処理に続く処理 大でない場合 (No)、ステップS43に戻って、再

[0032]

手順を実行する。

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、請求項 1 記載の発明のブリンタ装置によれば、職別データに対 が異なる場合に、印字モードを変更して同一の印字結果 となる際に、この印字モードを変更して、その印字を行 っている。したがって、不要な印字が防止され、従来の ように使用者が印字モードの再数定数作を行って、外部 る。この結果、印字モードの不一致時に散置場所に出向 いて行う操作パネルでの設定し直しが不要になって、そ **応して登録されている印字モードと現在の印字モードと** 装置から再度のデータ送出を行わないですむようにな の操作性が向上するようになる。 8

【0033】 請求項2記載のプリンタ装置によれば、額 **ピゲータに対応して登録されている印字モードと現在の** 印字モードとが異なる場合に外部装置からのデータを通 **称時と異なる領域に記憶して、異なる印字モードでの印** 字を防止している。したがって、他の外部装置からのデ 印字モードが不一致となったデータに対しても、パネル る。この結果、再び外部装置からデータ送信を行う必要 がなくなり、印字動作の禁止時に次の使用開始が容易か **一夕に対する印字を待たせることがなくなる。さらに、** 操作によって、先に送出したデータの印字が可能にな **り臨実になって、雄作在が向上するようになる。** [図面の簡単な説明] ೫

[図1] 本発明のプリンタ装置の実施形態の構成を示す プロック図。

[図2] 玻ේ形態にあった臼針モードが陥ったいたも印 【図3】 実施形態にあって操作パネルの散定のし直しを [図4] 実施形態にあって印字動作禁止時に次の使用別 始を容易にする動作の処理手順を示すフローチャート。 不要にする動作の処理手順を示すフローチャート。 [年号の説明]

101 CPU

ICカード 102

JOY7AROM NVRAM 103 104

フォントROM 901 RAM 106

Hンジン1/F 107 [88]

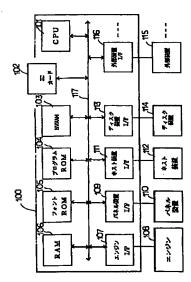
1-6x

113 ディスク装置1/F

108 エンジン 109 パネルI/F 110 パネル装置 111 パネル装置1/F 112 ホスト装置

114 ディスク装置 116 外部装置 116 外部装置1/F 117 パスライン

[図1]



日今年―ドを変更すれば同じ印刷辞票になるか 育べる。

\$55 ×

日子で-ドの教気

即李华田

日本モードが建っていても同じ中間は果に、なる国み合わせ情報の数み込み

一番しない印字モードをピックアップ

格擬方向 [图2]

用紙 : A4様 医療性回転: 0度 格兼が何

用紙 : A4模座模制回転:90度

æ

(a

9

3

